

事業の名称：担い手発掘！心ハズム人材育成プロジェクト

団体名	佐世地区振興協議会	事業費	200,000円
代表者	会長 大坂浩二	補助金交付額	200,000円

現状と課題

少子高齢化や若い世代の他地区への移住により、高齢化率も上昇傾向にある。また、小学校の児童数においても、将来的には減少することが予想されている。地域活動活動へも40代前後の参画はあるものの、地域の次世代を担うべき若者世代の参画が図れていない課題がある。

事業の目的

イベント(バブルボール体験会)開催を目指して、地域の担い手である「どげな会」(任意団体)と協力し、若手世代が企画段階から一緒に計画することで、活動を通しての地域への思いを感じる機会の創出と、佐世地区を担う若者世代の育成や地域外からの関係人口の増加を図る。

実施内容

◇実施状況

少子高齢化や若者世代の他地区への移住などにより人口の減少が続く中、特色があり誰もが楽しめるイベント(バブルボール体験会)と地域のことを話し合える場のきっかけ作りとしてバーベキューを実施。

①バブルボール体験会

佐世地区民(小学生以上対象)を中心に呼びかけを行い実施、当日はボランティアを含めて74名の参加があり、活動を通して交流を深めた。

②バーベキューの実施

参加者同士で食事をしながら多世代が交流する場となった。地域のことを話す場となった。

◇成果と課題

イベントを通して、各世代(小学校—中学校—若者)が参加者、ボランティアなどそれぞれの役割をもって活動に取り組むことができた。中学生ボランティアなど新たな人材発掘にもつながった。特色ある活動として、新たな地域の担い手人材の発掘に継続的につながる仕組みづくりが今後、必要となる。

